

ボランティア便り

第3号 (年3回発行)

《2024年度第2回 交流学習会》

ワークショップ特集》

3月はボランティア・フェスティバルの開催時期ですが、今回は福祉大会との合同大会として2月に開催されたため、今年度最後の行事として、お互いのボランティア活動を気軽に語り合い、深め合う場として2時間弱のワークショップを開催しました。参加者は会員13、理事7、社協3の計23名で3班に分かれました。

ワークショップとは…本来「作業場」「仕事場」の意ですが、現代では参加者の主体性を重視した体験型の講座、グループ学習や研究集会などを指す言葉です。

テーマ…「**語ろう楽しいボラ活動と悩み**」

形式…少人数でテーブルを囲み、飲物とお菓子をつまみながらお互いのボランティア体験を語り合い、悩みの解決の糸口を見つけましょう。



浦川豊彦会長あいさつ

予定通り午後1時半の開会直後、浦川会長は、まず先月のボラフェス参加への謝辞の後、今回交流学習会を週日から試験的に日曜日にした理由を述べました。

次に、能登半島地震で連日、災害ボランティアの報道がなされていますが、日常的に各種市民ボランティア活動の中核を担っているのは多くの高齢者です。

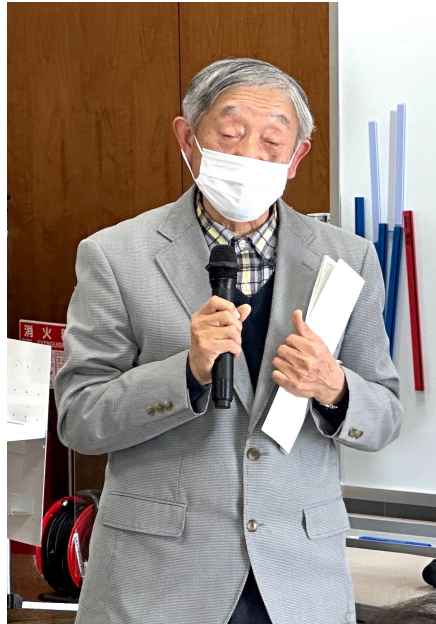
それに関連して、ペットや動物園のような人工飼育下の動物は例外として、ヒト以外の野生動物でハッキリとした閉経後の「老後」があるのは、シャチとゴンドウ鯨ぐらいだそうです。

「この長期間の『老後』は、経験を活かして、貢献度の程度からババ・ジジによる孫の子育てを支援すること(と多産)で、今日のヒトの繁栄をもたらしてきました。」と述べました。

長い「老後」は、ボランティア活動を通じて社会に貢献できます。生きがいや健康の素であり、時に楽しく、時には悩むこともある持続的な活動です。この度、理事会が交流学習会としては初のワークショップを計画した経緯を述べました。

アンケートのまとめ 〈ボランティア／ワークショップをして 良かったこと〉

- ・ 皆さんと沢山の会話がおだやかに出来ました。
- ・ 各ボランティアの団体の方の悩みと生きがいがあった。生きがいと感じている方が多かった。
- ・ 他のグループの方と顔なじみになれた。仲良くなれた。
- ・ 支援の必要な方の情報を得ることができました。
- ・ 人生観が変わった。
- ・ 人とのつながりの大切さを実感した。
- ・ 人の笑顔と感謝の言葉に出逢えて、嬉しい。
- ・ 健康になる。
- ・ 今までの交流会と雰囲気が変わり、やわらかく発言しやすかった。
- ・ 悩みは同じなので、気持ちが楽になる。
- ・ 活動が楽しく、明るく、にぎやかで、皆さんから喜んでもらっています。ありがとうございます。感謝です。
- ・ ボランティア活動は自分のためでもあり、みんなのためでもあります。



記入した付箋を元に各班の代表発表者による報告

- ・ ボランティアに興味をもち、子ども達と共に笑いあう、楽しくやっていられるボランティアと思えました。
- ・ 参加班の団体の活動内容等がわかり、また交流ができたこと。
- ・ 発表内容がだいたい同じ内容でした。
- ・ 日頃会えない団体の方と話せて、とても良かったです。
- ・ 悩みもどこも同じだと感じて少し安心したところもあります。
- ・ この活動団体にも新しい方がなかなか入ってこない等聞く事が出来てよかった。
- ・ 困っていること等、共有化を図る事が出来、とても良い時間でした。今後も取り入れて欲しい。
- ・ 本日はとても充実した日でした。新しい人達との出会いが何よりです。
- ・ 他の団体のなやみや感じるやりがい等を共有できたことが良かった。
- ・ 2人2人確保できました。
- ・ 記入してゆくのは良かった。話しやすかった。他の人の話も聞けた。
- ・ 御接待のお茶やお菓子にビックリしました。スゴイ！発想。
- ・ 始めて参加しました。

〈改善すべきことなど〉

- ・他のボランティアさんと交流してやってもらうことも、いいと思います。
- ・新しい会員や若い会員の加入による活動の活性化が必要。
- ・いつも同じ団体の出席が多い様に感じます。
- ・何とか、いつも会えない団体さんの活動も知りたい。
- ・団体のトップでなくとも、各団体から代表1名は出席していただけると、もっと横のつながりが出来ると思いますが。
- ・65団体の代表が入るグループラインができるの情報共有がスムーズだと思います。
- ・ワークショップは、最初、他のグループの声も聞こえ、聞きづらかった。
- ・グループ討議の時間はもう少し長い方が本音が出ると思う。
- ・団体の活動内容がわかればいいなと思いました。
- ・やはりたくさんの方に参加して欲しい。



〈ボラ連/社協への要望など〉

- ・告知のあり方の改善。
- ・HP(ホームページ)活用、お知らせのあり方、情報発信のやり方の改善。
- ・貴重な時間となりました。
- ・設営、ありがとうございました。
- ・ボラ連役員・社協の皆様、ありがとうございます。お世話になっていきます。
- ・色々ご連絡大変でしたが、これからも宜しく願います。
- ・ボランティアへの参加を社協にて募集をお願いしたい。
- ・各登録団体の名前だけではなく、活動内容がもっと知りたいです。(HP)
- ・65もの団体があるので、もっと参加者が多くなるようにしたいと思います。
- ・ボランティアフェスティバルについて、広報、運営団体も時間延長、イベントも多彩に。
- ・こういう形のワークショップ、よかったです。
- ・勉強になりました。また参加させていたただきたいと思いました。

理事の感想から

《理事A》

今までと違いぎっくばらんに語りましょう、ということ各テーブルには季節感あふれる水仙の花が飾られ飲み物(お茶、コーヒー)、お菓子付きでした。

初めは少し硬い雰囲気もありましたが、徐々に打ち解け話も弾みました。

ボランティア活動で得た知識経験を伝えるのは勿論ですが、今までの自分にはなかった、自分自身を見つけその事で次のステップに活かしているというご意見にとっても共感しました。これからの生き方が、充実した素晴らしい事になると思いました。また活動を通して、同じ想いを持つ仲間と知り合い、さらに大きな輪となることを実感しました。

最大の悩みである人材不足！

一人でも多くの方に参加して欲しいと願うばかりです。

今回はお互いの刺激にもなり有意義な交流会でした。

《理事B》

活動も少しずつ以前に戻ってきている様子の報告がありました。団体それぞれに活動内容は違いますが、ボランティア

活動をすることで得られる生きがいについての話がたくさん出てきました。これまでの経験を活かし、地域とつながり貢献していくボランティア活動の意味を再確認することができました。

今後の課題としては、活動の継続、人員確保、各団体との連携や情報共有、ボランティアの1年単位の行事計画立案についてなどがあがりました。

付箋に思い思いに書いていき集約してまとめる形で、意見が出しやすく和やかな研修会でした。

《理事C》

司会者は和やかな雰囲気で行った説明をして開催。いつもと同じく緊張感を感じていましたが、各テーブルにお茶とお菓子が運ばれてきたのに感謝して皆さんの笑顔リラックスされた様子がかげえました。

ご協力ありがとうございました。参加者18団体23人参加で欠席者5人でした。

定期総会のご案内

2024年度の定期総会は5月10日金曜日午後1時から、総合福祉センター2階大会議室にて開催予定です。

祝 市社会福祉協議会 会長賞

ボラ連加盟団体のご案内

日時：2月4日(日)

場所：第51回久留米市社会福祉大会

受賞加盟団体：受賞7団体のうち5団体

☆ 福岡県青少年科学館ボランティア会

☆ 大嗣会(たいしかい)

☆ 石けんを広め自然環境を守る久留米市民の会

☆ 特定非営利活動法人 日本車椅子レクダンス協会久留米支部

☆ 久留米大学医学部看護学科ボランティアサークル はなみずき

